



Developing  
Opportunity

新興国ハイクオリティ成長株式ファンド 愛称:未来の世界(新興国)

追加型投信／内外／株式

新興国経済は、労働人口の増加などを背景に、  
今後も先進国経済に比べて相対的に高い成長が見込まれます。  
また新興国は未成熟であるからこそ、先進国よりも競争にさらされにくく、  
成長期待への確信度の高い企業が数多く存在すると考えています。

私たちは新興国の  
あらゆる成長機会に着目し、  
長期的な視点でその高い経済成長を背景とした  
投資リターンを追求するのです。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント  
グローバル・オポチュニティ株式運用チーム  
運用責任者

## クリスチャン・ヒュー

- 2001年、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント入社。20年超の運用経験を有する。
- グローバル・オポチュニティ株式運用チームの責任者、およびグロース投資におけるグローバル型投資の責任者を務める。
- 同氏が率いるチームでの全運用残高は、約15年前（2008年6月末時点）は約5億円\*<sup>1</sup>だったが、足もと（2025年9月末時点）、約7兆円\*<sup>2</sup>まで拡大している。
- 米デューク大学経済学部卒業。
- CFA協会認定証券アナリスト。

\*1 1米ドル=106.42円（2008年6月末）で換算。

\*2 1米ドル=148.88円（2025年9月末）で換算。

出所：ブルームバーグ、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータをもとにアセット  
マネジメントOne作成

*Kristian Hough*

最大のリスクは損をすること

# Risk is losing money.

私たちの運用における最大の目的は、  
中長期(3~5年)の「リターンの最大化」と「投資元本の毀損回避\*」です。

先行きが不透明な昨今、マクロ経済の動向やイベント等により、短期的な変動はありますが、  
私たち運用チームのスタンスはいつも一貫しており、  
市場動向に対して極端に強気になったり、弱気になったりすることはありません。

私たちが投資したいと考えるハイクオリティ成長企業、

それは、変化の時代をリードする成長企業、

あるいは時代の変化にも揺るがない持続可能な成長企業です。

\*ディベロッピング・オポチュニティ株式運用戦略のリスク管理において、最重要視しているものです。

# 当戦略を理解するための3つのポイント

01

新興国のあらゆる投資機会を追求

02

魅力的と考える銘柄に厳選投資

03

優れた運用実績を裏付けるユニークな運用体制

## 01

## 新興国のあらゆる投資機会を追求

当戦略は新興国企業の株式を投資対象としています。

当戦略は、年間4%を超える経済成長率を実現する新興国の企業への投資機会を提供します。

先進国の経済成長率2%弱と比較した場合、その差は顕著です。

一般に、新興国の多くは金融サービスや保険・消費財・インターネットなどの基本的なサービスや商品の浸透率が先進国より低い傾向にあります。そのため、それらのサービスや商品に対する潜在ニーズが先進国に比べ多くあると考えます。加えて、現地企業に有利な規制などの存在が市場への参入障壁となり、競争にさらされにくいと考えます。

新興国への投資は、短期的には株価の変動性が高まる可能性があります。長期的には、その高い成長を背景とした投資の成果を享受できると考えます。

ファンドが活用するディベロッピング・オポチュニティ株式運用戦略とは

## Developing Opportunity

開発途上

(投資)機会

- 新興国企業の株式へ投資します。
- 地域、セクター、テーマを特定せず、広い視野で投資機会を追求します。

※新興国企業とは、主として新興国の金融商品取引所に上場または事業活動の主要な部分を新興国で行うと判断される企業を指します。

※経済成長率は、2015年～2024年の期間平均を使用。先進国、新興国の分類はIMF(国際通貨基金)の分類に準拠しています。

出所:IMF「World Economic Outlook Database, October 2025」のデータをもとにアセットマネジメントOne作成

# Developing Opportunity

## 02

## 魅力的と考える銘柄に厳選投資

私たちは、新興国の魅力的と考える銘柄を厳選して、約 25 ～ 50 銘柄に集中投資を行っています。

投資家のみなさまから「集中投資はリスクが高いのでは？」という質問をよくいただきますが、私たちは集中投資がリスクの高い投資だとは考えていません。むしろ、よく知らない企業への投資こそリスクだと考えています。

企業を徹底的に調査・分析し、深く理解したうえで、ハイクオリティ成長企業と判断した株式にのみ投資をすることこそ、最大のリスク回避であると考えています。

また、私たちは『株価が割安かどうか』も重視しています。

どれだけ魅力的なハイクオリティ成長企業の株式であっても割安な水準でないと判断した場合には投資することはありません。

# Best of the Best



# ハイクオリティ成長企業とは



\*1 ESGとは、環境(Environment)・社会(Social)・企業統治(Governance)の頭文字をとった略称です。  
 \*2 企業ぐるみの不正や、違法行為等を防止するために企業を統制・監視する仕組みのこと。  
 ※資料作成時点のファンドマネジャーの考えに基づくものであり、今後予告なく変更される場合があります。  
 出所: モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの情報をもとにアセットマネジメントOne作成

# Five Qualities

## 03

優れた運用実績を裏付ける  
ユニークな運用体制

私たちは、過去のデータを分析するのではなく、長期的な視点に立ち、持続的な成長を生み出す「未来」に投資をすることが、長期的なリターンにつながっていくと考えます。

先行きが不透明な昨今、マクロ経済の動向やイベント等により、短期的な変動はありますが、私たち運用チームのスタンスはいつも一貫しており、市場動向に対して極端に強気になったり、弱気になったりすることはありません。私たちは揺るぎない信念を持ち、魅力的と考えるハイクオリティ成長企業を発掘し、投資することを継続しています。

一方、時代の変化にあわせてリサーチ体制を進化させてきました。厳格な運用プロセスを徹底しつつも、異なる経歴を持つ人材で議論することで、より多くのアイデアが生まれ、投資機会を獲得できると信じており、この柔軟さが15年を超える優れた運用実績\*につながったと考えます。

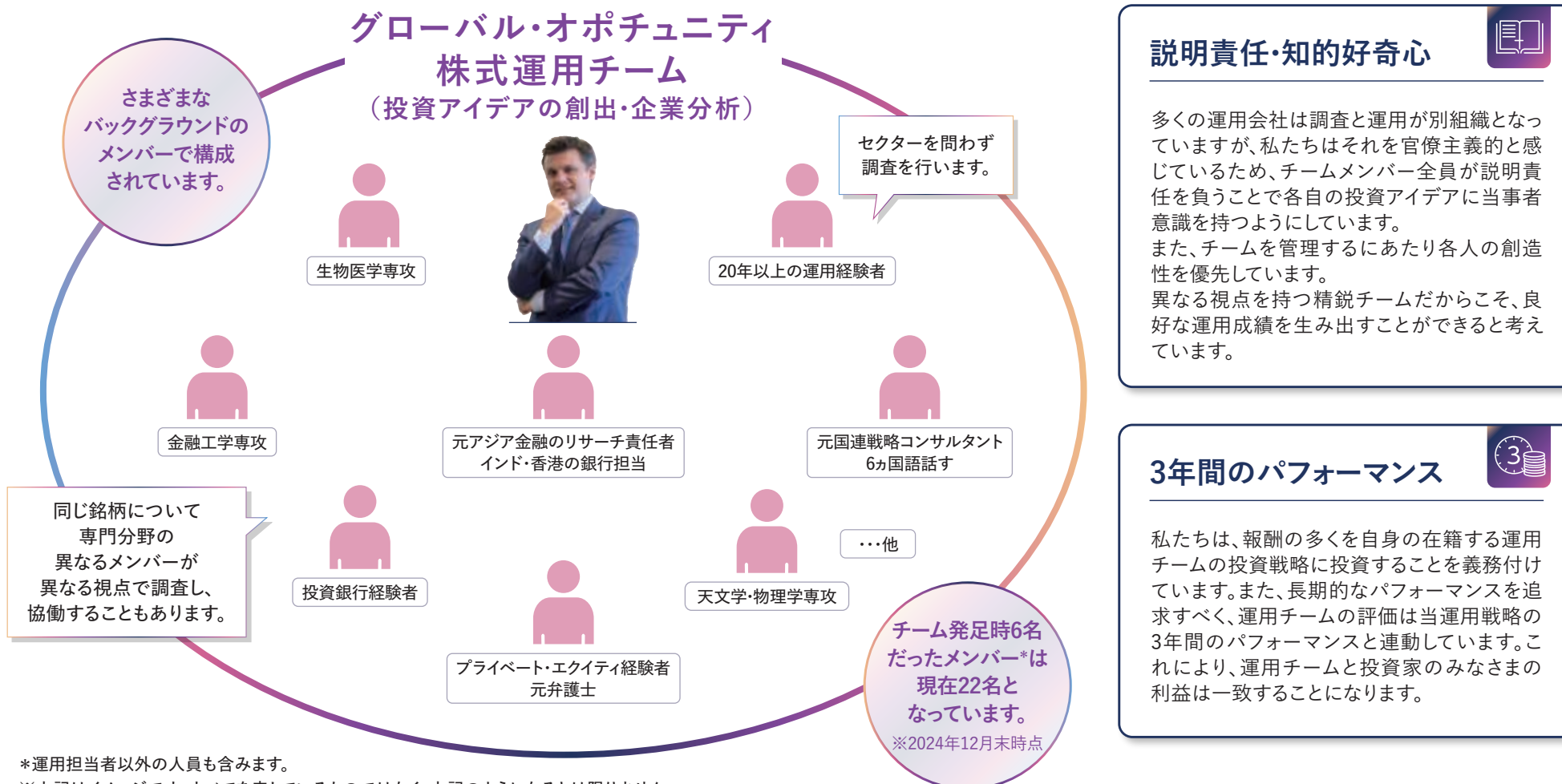
\*9ページ参照

# Experienced & Integrated Team

# 優れた運用実績を裏付けるユニークな運用体制

## 「異なるベストアイデアを持つ人材で構成された運用チーム」

- 運用チームは国籍、性別だけでなく専門分野も異なる多様性のあるプロフェッショナルが集まったダイバーシティなチームで構成されています。
- 説明責任を持つこと、異なる視点を持つ精鋭がチームとして力を合わせることで良好な運用成績につながると考えます。



### 説明責任・知的的好奇心



多くの運用会社は調査と運用が別組織となっていますが、私たちはそれを官僚主義的と感じているため、チームメンバー全員が説明責任を負うことで各自の投資アイデアに当事者意識を持つようにしています。また、チームを管理するにあたり各人の創造性を優先しています。異なる視点を持つ精鋭チームだからこそ、良好な運用成績を生み出すことができると考えています。

### 3年間のパフォーマンス



私たちは、報酬の多くを自身の在籍する運用チームの投資戦略に投資することを義務付けています。また、長期的なパフォーマンスを追求すべく、運用チームの評価は当運用戦略の3年間のパフォーマンスと連動しています。これにより、運用チームと投資家のみなさまの利益は一致することになります。

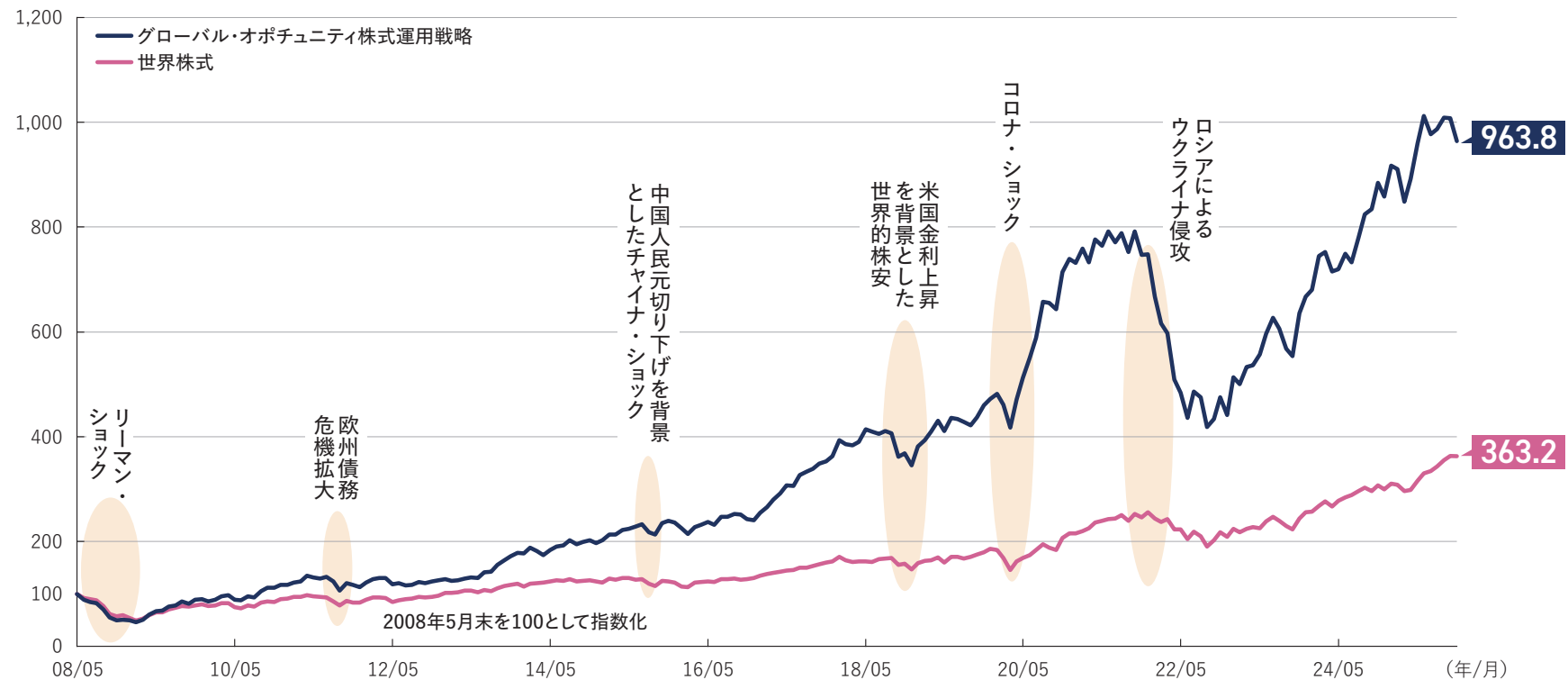
\*運用担当者以外の人員も含みます。  
※上記はイメージです。すべてを表しているものではなく、上記のようになるとは限りません。

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# (ご参考) 同運用チームが運用するグローバル・オポチュニティ株式運用戦略のパフォーマンス

下記は、グローバル・オポチュニティ株式運用チームが運用を行う米国籍ファンド「モルガン・スタンレー・インスティテューショナル・ファンド・インク グローバル・オポチュニティ・ポートフォリオ」のパフォーマンスを参考として表しています。当ファンドが用いるディベロッピング・オポチュニティ株式運用戦略と投資対象が異なるものの同様の運用プロセスを用いています。そのため、当ファンドの運用実績とは直接的な関係はありません。また、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

グローバル・オポチュニティ株式運用戦略の米国籍ファンドのパフォーマンス推移(米ドルベース)



※期間:2008年5月末(設定日)~2025年11月末(月次)

※グローバル・オポチュニティ株式運用戦略の米国籍ファンドの運用実績は、運用費用控除前、分配金再投資、米ドルベースのパフォーマンスを表しています。

※世界株式は、MSCI AC ワールドインデックス(税引後配当込み、米ドルベース)を使用していますが、ファンドのベンチマークではありません。

出所:ブルームバーグ、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

## クリスチャン・ヒューからのメッセージ

投資家のみなさまが「基準価額が上昇したら売るべきタイミングなのか」と考えることは不思議なことではありません。

*It's only natural that you would be wondering, I've done well. Is now the time to sell?*

しかし私は、市場に居続けることが重要だと考えます。

*And what we would say is that it's really about the time that you invest in the market.*

変動する市場で売買のタイミングを計ることは難しいものです。

*And it's very difficult to try to time the market itself.*

当運用チームは、投資にあたり企業の株価が、本質的な価値よりも割高なのか割安なのかを判断しています。

*We are going to say when a company is trading at higher or lower than what its intrinsic value is.*

割安と判断して投資した企業の株価が本質的な価値に近づいた段階で売却し、次の銘柄に投資するため、みなさまが売買のタイミングを心配する必要はありません。

*If we can buy companies at a price far less than the value, ultimately, we'll make money for you if we're selling those companies, when they're closer to what that value is. But we're doing that work for you. You don't have to worry about that.*

銘柄の売買のタイミングについては、当運用チームにお任せください。

*Let us worry about the buys and the sells in the short term.*

投資家のみなさまには当運用チームをパートナーに選んでいただくことで、株式投資のリターンを享受していただけると幸いです。

*And, you know, ultimately, I think that this will lead to the greatest possible partnership experience for everybody.*

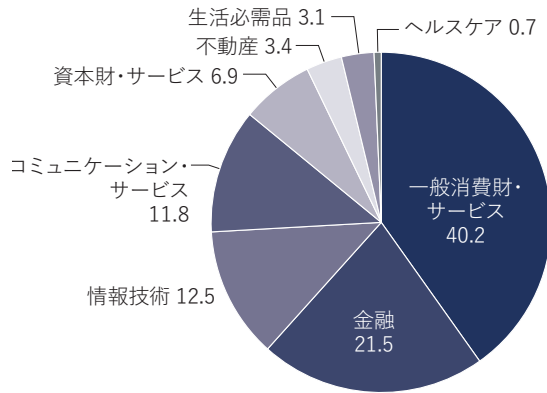


## 新興国ハイクオリティ成長株式ファンドの状況

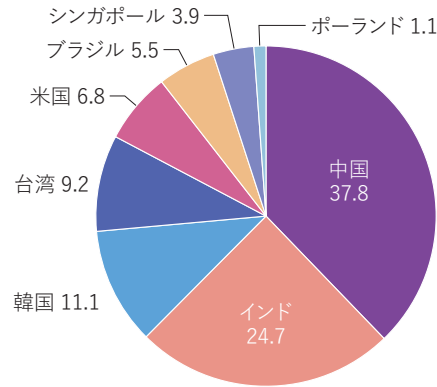
---

# ポートフォリオ

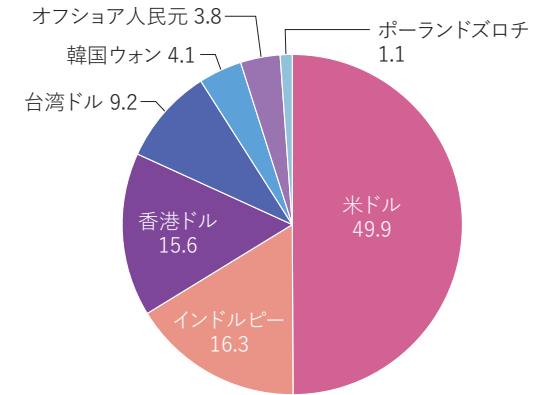
業種別組入比率(%)



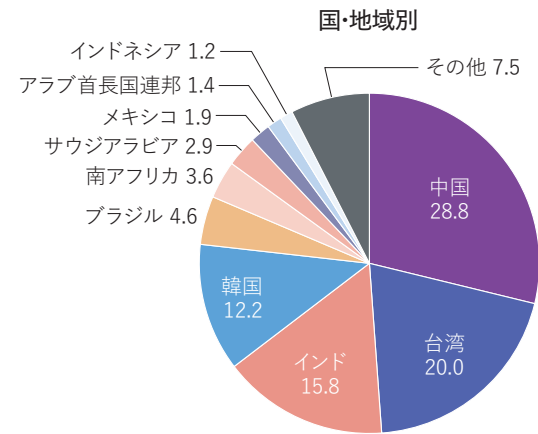
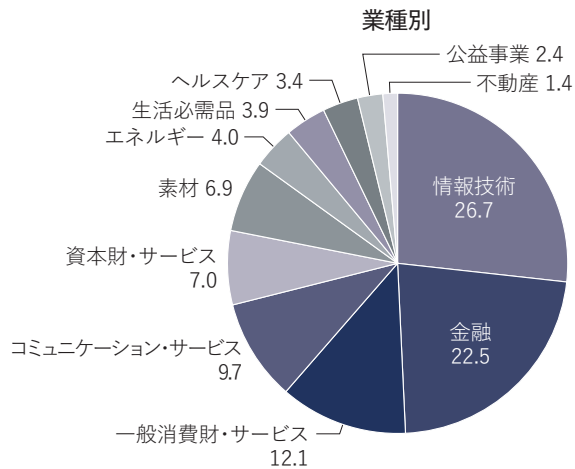
国・地域別組入比率(%)



通貨別組入比率(%)



(ご参考) MSCIエマージング・マーケット・インデックスの組入比率(%)



※2025年11月末時点

※比率は、組入株式評価額に対する割合です。

※業種はGICS(世界産業分類基準)に基づいています。

※国・地域は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの基準によるものです。

※MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、当ファンドのベンチマークではありません。

※比率の合計は、四捨五入の関係で100%とならない場合があります。

出所:ファクトセット、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

# ポートフォリオ

## 組入上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	業種	組入比率(%)
1	台湾セミコンダクター	台湾	情報技術	9.2
2	メルカドリブレ	米国	一般消費財・サービス	6.8
3	クーポン	韓国*1	一般消費財・サービス	6.5
4	トリップ・ドットコム・グループ	中国*2	一般消費財・サービス	6.2
5	ヌー・ホールディングス	ブラジル*2	金融	5.5
6	ICICI銀行	インド	金融	5.2
7	HDFC銀行	インド	金融	4.8
8	テンセント	中国*2	コミュニケーション・サービス	4.7
9	エターナル	インド	一般消費財・サービス	4.6
10	メイチュアン	中国*2	一般消費財・サービス	4.5

組入銘柄数: 33銘柄

\*1 登記上は米国籍となります。

\*2 登記上はケイマン籍となります。

※2025年11月末時点

※組入比率は、組入株式評価額に対する割合です。

※国・地域は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの基準によるものです。

※業種はGICS(世界産業分類基準)に基づいています。

※個別銘柄の売買を推奨するものではありません。また、今後も当該銘柄の保有を継続するとは限りません。

出所:モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# 個別銘柄のご紹介: 変化の時代をリードする成長企業

## メルカドリブレ(米国)

業種: 一般消費財・サービス

南米市場最大の電子商取引サイトを運営

評価のポイント

- 南米市場における圧倒的なリーダーシップ  
インターネット普及率が急速に高まっている南米において、圧倒的な地位を確立しており、市場の拡大から大きな恩恵を受けることが期待されます。
- eコマースとフィンテックを統合した独自のプラットフォーム  
eコマースに同社独自のデジタル決済プラットフォーム「メルカド・パゴ」を活用しています。南米では金融サービスへのアクセスが限られている人が多く、メルカド・パゴにより利便性が向上し、ユーザーの囲い込み効果を高めています。

株価推移



※期間: 2017年12月末～2025年11月末(月次)

\*1 登記上は米国籍となります。

\*2 注文した商品を翌日には受け取ることができるサービスのことを指します。

※各企業の業種はGICS(世界産業分類基準)に基づいています。

※個別銘柄の売買を推奨するものではありません。また、今後も当該銘柄の保有を継続するとは限りません。

出所: ブルームバーグ、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

## クーパン(韓国\*1)

業種: 一般消費財・サービス

韓国のeコマース最大手

評価のポイント

- 利便性の高いサービスによる高い競争優位性  
独自の「密集都市型物流システム」によるロケット配送\*2と、同システムを活用したオンライン商品の物流サービス代行による第三者物流市場で、高い競争力を有しています。
- 高い顧客満足度  
フード・デリバリー、オンライン決済等のビジネスも展開しています。サービスに対するユーザーの満足度が高いことから、顧客の獲得に加え、広告費等の抑制が期待されます。

株価推移



※期間: 2021年3月末(上場月)～2025年11月末(月次)

※株価はニューヨーク株式市場における推移です。

※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# 個別銘柄のご紹介： 変化の時代をリードする成長企業

## ヌー・ホールディングス(ブラジル\*1)

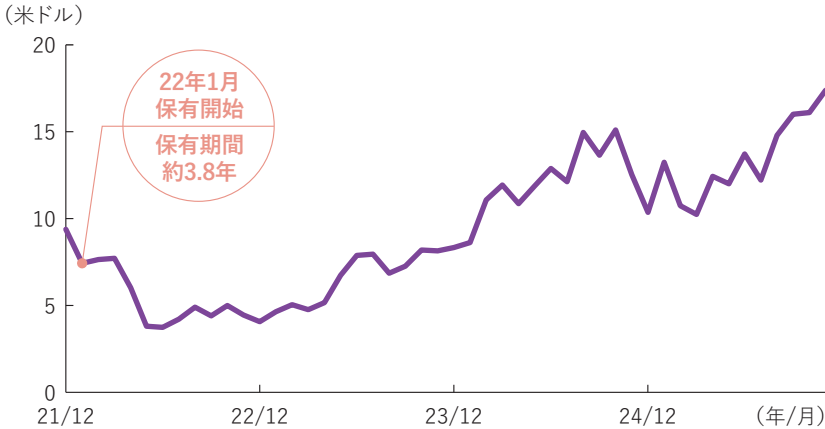
業種:金融

南米最大のデジタル銀行を運営

評価のポイント

- テクノロジー活用による効率的な事業モデル  
テクノロジー主導の低コスト構造と効率性により、伝統的な銀行とは異なるビジネスモデルを実現しています。誰もが利用できるさまざまなサービスを提供し、金融包摂\*2に貢献しています。
- 顧客中心のアプローチと成長性  
顧客目線によるサービスにより、新規顧客獲得コストを抑えつつ、急速な顧客基盤の拡大を可能にしています。

株価推移



※期間:2021年12月末(上場月)~2025年11月末(月次)  
※株価はニューヨーク株式市場における推移です。

\*1 登記上はケイマン籍となります。  
\*2 あらゆる人に経済活動において必要な金融サービスを展開する考え方を指します。  
※各企業の業種はGICS(世界産業分類基準)に基づいています。  
※個別銘柄の売買を推奨するものではありません。また、今後も当該銘柄の保有を継続するとは限りません。  
出所:ブルームバーグ、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

# 時代の変化にも揺るがない持続可能な成長企業

## 貴州茅台酒(中国)

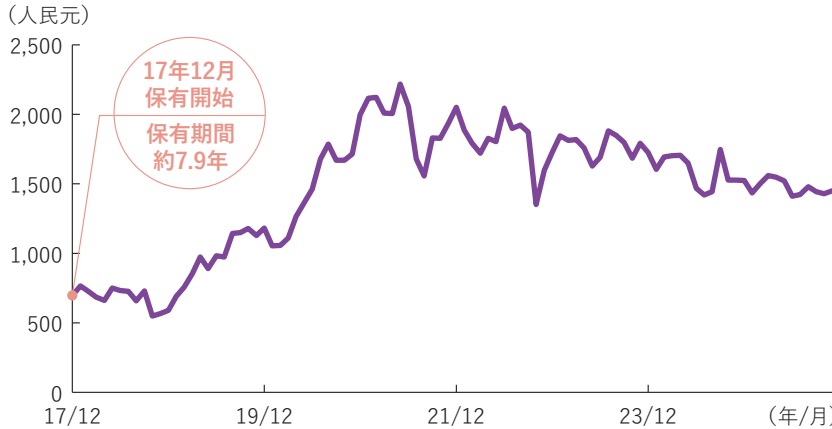
業種:生活必需品

中国の酒造会社最大手

評価のポイント

- プレミアム白酒市場のリーダー  
中国の高級白酒市場をリードするメーカーであり、強固なブランド力と価格決定力を有しています。生産に時間と手間がかかることによる供給制約と相まって、高い利益率を実現しています。
- 中国の消費アップグレードによる成長機会  
中国の人々の所得向上による高価格製品へのシフトという長期的なトレンドの恩恵を享受できる有利な立場を築いています。

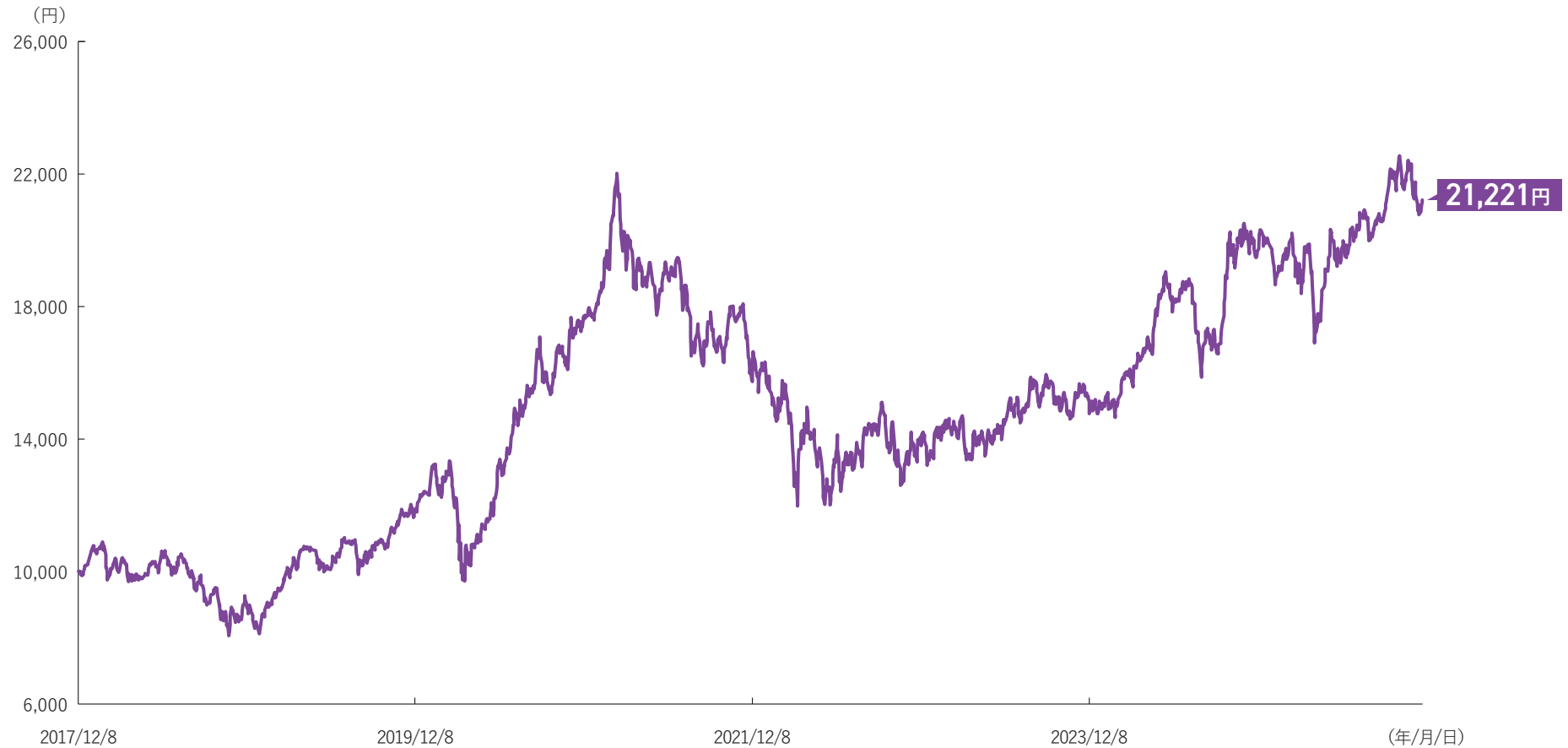
株価推移



※期間:2017年12月末~2025年11月末(月次)

※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# ファンドの基準価額の推移



※期間:2017年12月8日(設定日前営業日)~2025年11月28日(日次)  
※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後の価額です。換金時の費用・税金などは考慮していません。  
※基準価額は設定日前営業日を10,000円として計算しています。  
※2025年11月28日時点で分配実績はありません。

※上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

## ファンドの特色

1

わが国を含む世界の金融商品取引所上場株式(上場予定を含みます。以下同じ。)\*<sup>1</sup>の中から、新興国の株式または事業活動の主要な部分を新興国で行うと判断される企業が発行する株式に主として投資を行います。

\*<sup>1</sup> DR(預託証券)もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。

- 株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。
- 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

2

ポートフォリオの構築にあたっては、投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力の評価に基づき選定した質の高いと考えられる企業(「ハイクオリティ成長企業」といいます。)の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選して投資を行います。

- ボトムアップ・アプローチを基本に、持続可能な競争優位性を有し、高い利益成長が期待される銘柄を選定します。

3

株式等の運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インク\*<sup>2</sup>に運用の指図に関する権限の一部を委託します。

- モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクは、その委託を受けた運用の指図に関する権限の一部(株式等の投資判断の一部)を、モルガン・スタンレー・アジア・リミテッド\*<sup>3</sup>およびモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・カンパニー\*<sup>4</sup>に再委託します。

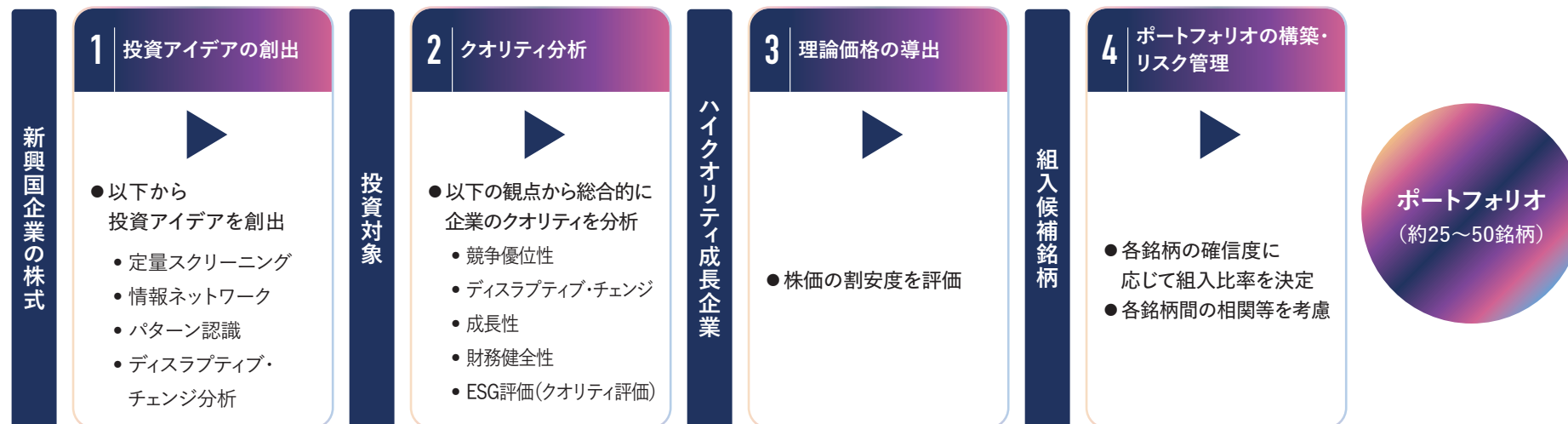
\*<sup>2</sup> モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのニューヨーク拠点であり、資産運用業務等を営んでいます。

\*<sup>3</sup> モルガン・スタンレーの香港法人であり、証券業務、投資銀行業務、ウェルス・マネジメント業務、資産運用業務等を営んでいます。

\*<sup>4</sup> モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのシンガポール拠点であり、資産運用業務等を営んでいます。

# 運用プロセス

当ファンドは、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのディベロッピング・オポチュニティ株式運用戦略を用いて運用を行います。持続可能な競争優位性を有し、高い利益成長が期待される企業のうち、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選してポートフォリオを構築します。



## 投資アイデアの創出

- **定量スクリーニング**  
成長率や利益率など企業の財務指標に基づき銘柄を調査します。
- **情報ネットワーク**  
企業経営者、業界の専門家との面談など、運用委託先の運用チームのネットワークを活用し、銘柄を調査します。
- **パターン認識**  
成功企業のビジネスモデルを地域や国、業界等が異なる企業に当てはめ、新規の投資アイデアの発掘につなげます。
- **ディスラプティブ・チェンジ分析**  
新しい価値が既存の価値にどのようなインパクトを与え、長期的かつ巨大な変化になるのかを大局的に見極めます。

※新興国企業とは、主として新興国の金融商品取引所に上場または事業活動の主要な部分を新興国で行うと判断される企業を指します。

※運用プロセスは、2025年12月末時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

出所:モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

## ファンドの投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。  
また、投資信託は預貯金と異なります。

### 基準価額の変動要因

株価変動リスク	株式の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、発行企業の業績・経営状況の変化、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式市場や当ファンドが投資する企業の株価が下落した場合には、その影響を受け基準価額が下落する要因となります。当ファンドが主要投資対象とする新興国企業の株式は、一般に先進国株式と比べ株価変動が大きい傾向があります。このため、基準価額が大きく下落する場合があります。また、当ファンドは個別銘柄の選択による投資を行うため、株式市場全体の動向から乖離することがあり、株式市場が上昇する場合でも基準価額は下落する場合があります。
為替変動リスク	為替相場は、各国の政治情勢、経済状況等の様々な要因により変動し、外貨建資産の円換算価格に影響をおよぼします。当ファンドは、組入外貨建資産について原則として為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため、為替相場が当該組入資産の通貨に対して円高になった場合には、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも基準価額が下落する可能性があります。
カントリーリスク	投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制、また、取引規制等の要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。海外に投資する場合には、これらの影響を受け、基準価額が下落する要因となる場合があります。当ファンドが主として投資を行う株式や通貨の発行者が属する新興国の経済状況は、先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化等が株式市場や為替市場におよぼす影響は、先進国以上に大きくなると予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制や課徴的な税制、海外への送金規制等の種々の規制の導入や政策の変更等の要因も株式市場や為替市場に著しい影響をおよぼす可能性があります。
流動性リスク	有価証券等を売却または取得する際に市場規模や取引量、取引規制等により、その取引価格が影響を受ける場合があります。一般に市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす要因となります。新興国の株式に投資する場合、先進国の株式と比べ流動性リスクが大きくなる傾向があります。
信用リスク	有価証券等の価格は、その発行者に債務不履行等が発生または予想される場合には、その影響を受け変動します。当ファンドが投資する株式の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、また、こうした状況に陥ると予想される場合、信用格付けが格下げされた場合等には、株式の価格が下落したり、その価値がなくなることがあり、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## お申込みメモ (みずほ銀行でお申込みの場合)

※ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

購入単位	[分配金受取コース][分配金再投資コース] みずほダイレクト[インターネットバンキング]:1万円以上1円単位 みずほ積立投信:1千円以上1千円単位(※) (※)分配金再投資コースのみ
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行のいずれかの休業日に該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2047年12月16日まで(2017年12月11日設定)
繰上償還	受益権口数が30億口を下回る場合等には、償還することがあります。
決算日	毎年12月14日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込みコースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」があります。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
課税関係	当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。

# お客さまにご負担いただく手数料等について(みずほ銀行でお申込みの場合)

詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入時	ご購入手数料	購入価額に対して、販売会社が別に定める以下の手数料率を乗じて得た額とします。 購入時手数料は、商品や投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務手続き等にかかる費用の対価として、販売会社に支払われます。	
		購入申込代金	手数料率
		1億円未満	1.650% (税抜1.50%)
		1億円以上3億円未満	0.825% (税抜0.75%)
		3億円以上	0.275% (税抜0.25%)
		※購入申込代金とは、購入申込時の支払総額をいい、購入申込金額に購入時手数料および当該購入時手数料に対する消費税等相当額を加算した金額です。	
ご換金時	換金時手数料	ありません。	
	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額とします。	
保有期間中 (信託財産から間接的にご負担いただけます。)	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して <b>年率1.87% (税抜1.70%)</b>	
		支払先	内訳(税抜) 主な役務
		委託会社	年率1.05% 信託財産の運用、目論見書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
		販売会社	年率0.60% 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
		受託会社	年率0.05% 運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
		※委託会社の信託報酬には、当ファンドの株式等の運用の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社(モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インク)に対する報酬(当ファンドの信託財産の純資産総額に対して年率0.65%)が含まれます。 なお、当該投資顧問会社に対する報酬には、モルガン・スタンレー・アジア・リミテッドおよびモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・カンパニーに対する報酬が含まれます。	
	その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。 ※その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。	

※上記手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 委託会社その他関係法人の概要

委託会社	アセットマネジメントOne株式会社	信託財産の運用指図等を行います。
受託会社	みずほ信託銀行株式会社	信託財産の保管・管理業務等を行います。
販売会社	株式会社みずほ銀行 他	募集の取扱いおよび販売、投資信託説明書(目論見書)・運用報告書の交付、収益分配金の再投資、収益分配金、一部解約金および償還金の支払いに関する事務等を行います。

## 照会先

アセットマネジメントOne株式会社

コールセンター **0120-104-694** 受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ  
アドレス

 <https://www.am-one.co.jp/>

# ご注意事項等

## 投資信託ご購入の注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。当ファンドのお申込みに際しては投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等をあらかじめお渡しいたしますので、内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当ファンドは、株式等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は
  - 1.預金・保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、登録金融機関を通して購入した場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
  - 2.購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  - 3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は投資者のみなさまが負担することとなります。

## 指数の著作権等

- MSCI AC ワールドインデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 世界産業分類基準(GICS)は、MSCI Inc.(MSCI)およびStandard & Poor's Financial Services LLC(S&P)により開発された、MSCIおよびS&Pの独占的権利およびサービスマークであり、アセットマネジメントOne株式会社に対し、その使用が許諾されたものです。MSCI、S&P、およびGICSまたはGICSによる分類の作成または編纂に関与した第三者のいずれも、かかる基準および分類(並びにこれらの使用から得られる結果)に関し、明示黙示を問わず、一切の表明保証をなさず、これらの当事者は、かかる基準および分類に関し、その新規性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性について一切の保証を、ここに明示的に排除します。上記のいずれをも制限することなく、MSCI、S&P、それらの関係会社、およびGICSまたはGICSによる分類の作成または編纂に関与した第三者は、いかなる場合においても、直接、間接、特別、懲罰的、派生的損害その他一切の損害(逸失利益を含みます。)につき、かかる損害の可能性を通知されていた場合であっても、一切の責任を負うものではありません。

## 分配金に関する留意事項

- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のことで、受益者毎に異なります。
- 分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することとなります。

当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

また、投資信託は預貯金と異なります。

みずほ銀行での取扱いはインターネットバンキングでのお申込みに限定させていただきます。

お申込みにあたっては、必ず投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面等をご覧ください。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

**MIZUHO** みずほ銀行

商号等：株式会社みずほ銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第6号  
加入協会：日本証券業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■設定・運用は



アセットマネジメントOne

商号等：アセットマネジメントOne株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会